

VII. 資料3：国際理解教育・開発教育のリソース

・本研究会の委員が所属する国際理解教育・開発教育を实践・推進する団体のリソース（支援内容：講師派遣、教材貸し出し、訪問受け入れ、情報・資料提供、研修・講座等）および問い合わせ先を掲載します。

- ◆ 独立行政法人 国際協力機構中部国際センター（JICA中部）
- ◆ 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター（NANGOC）
- ◆ 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター（ICAN）
- ◆ 国際理解教育プログラム（EIUP）
- ◆ 財団法人 愛知県国際交流協会（AIA）
- ◆ 財団法人 名古屋国際センター（NIC）
- ◆ 特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター（NIED）

JICA 中部が実施する国際理解教育・開発教育支援事業について

独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA 中部）は、開発途上国への政府援助（ODA）の実施機関として、青年海外協力隊やシニア海外ボランティア、技術協力専門家等の派遣、開発途上国からの技術研修員の受入などを実施している JICA の中部地区における拠点です。当センターでは以下のような国際理解教育・開発教育の支援事業を行っています。

■■■学校の現場で活用できるプログラム■■■

♪中学生・高校生エッセイコンテスト ～エッセイを書いて国際協力を考えてみよう！～

JICA では毎年中学生・高校生を対象にエッセイコンテストを開催しています。国際社会の中で日本は何をすべきか、また、私たち一人一人がどう行動すべきかなどについて考えてもらうことを目的として、国際協力に関するエッセイコンテストを毎年開催しています。上位入賞者には海外旅行のプレゼントがあり、その他にも各種賞を用意しています。

テーマ：開発途上国や国際協力について考えていること

枚数：中学生－400字詰め原稿用紙3枚以内（B4サイズ）

高校生－400字詰め原稿用紙4枚以内（A4サイズ）

募集期間：5月～9月（平成15年度）

特選・準特選・審査員特別賞、優秀賞受賞者には副賞として海外旅行（平成15年度 フィリピン、中国、ベトナム等）



賞状を渡される受賞者

♪JICA 国際協力出前講座



みんなで民族衣装を試着！

「JICA 国際協力出前講座」とは、青年海外協力隊のOB・OGやJICA職員などの国際協力の経験者が講師として、学校などに伺い、現地での活動体験やそれに基づいた国際協力についてなどを講演します。国際協力の現場を実際に体験した人のお話を聞くので、とても楽しいものです。また、JICA 中部に滞在して様々な分野で研修を受けている開発途上国からの研修員もあなたの学校に伺います。

講師：青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの経験者・JICA 中部に滞在している研修員・JICA 職員など

講演テーマ：開発途上国の文化や人々、国際協力、青年海外協力隊・JICA の仕事についてなど

JICA 国際協力出前講座のホームページには各学校を訪れたエピソードが掲載されています！

<http://www.jica.go.jp/branch/cbic/jigyo/kaihatsu/index.html>

JICA 国際協力出前講座のお申し込み・お問い合わせは各県の国際協力推進員にお尋ね下さい。

■■■学校の先生方を対象としたプログラム■■■

♪小学校・中学校・高校教師海外研修

JICA では小学校・中学校・高校の先生方を対象に、開発途上国における国際協力の現場を知っていただくために海外研修旅行を行っています。この研修は、学校の先生方に開発途上国の現状と JICA 事業を始めとした国際協力への理解を深めていただく機会を設けることにより、次の世代を担う人材を育てる先生方の実践に役立てていただくことを目的としています。

実施時期・期間：夏休みに約10日間程度（平成15年度）

参加資格：授業・又はクラブ活動などで国際理解教育・開発教育を実践されている先生

派遣国：小学校教師－ベトナム、中学校教師－ラオス、高校教師－ケニア

（平成15年度）



協力隊員の紹介により家庭訪問！

♪教師対象講座(開発教育実践講座、開発教育指導者研修)



国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員、自治体職員、NGO・NPO職員、青年海外協力隊OB・OG等を対象として、授業で開発教育を行うためにワークショップの体験や実演、先駆的な取り組みの紹介、開発教育の概念説明などを行います。いずれも内容は、国際理解教育・開発教育の授業での実践を目的として、ワークショップの体験・実演、先駆的な取り組みの紹介、開発教育の概要説明等です。

開発教育実践講座(入門編・初級者編)

実施時期:年4回

講師:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教諭、教育委員会職員、自治体職員、NGO・NPO職員、青年海外協力隊OB・OG等

実施場所:静岡市、名古屋市、岐阜市、津市(平成15年度)

参加者:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員

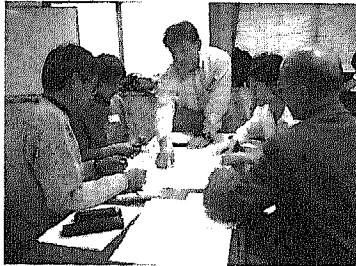
開発教育指導者研修(中級者編)

実施時期:年1回(1泊2日×3回:平成15年度)

※開発指導者研修は、1泊2日の3回シリーズで行います。

実施場所:名古屋市

参加者:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員



先生方も真剣に講座を受講中!

■■■JICA 中部をのぞいてみませんか? ■■■

♪高校生国際協力実体験プログラム

JICA 中部では毎年夏休み期間を利用して「高校生国際協力実体験プログラム」を実施しています。

平成15年度は8月25日～27日の2泊3日の日程で東海・北陸地方の各県から8校40名の高校生と引率教師がJICA 中部に宿泊し、世界の料理試食体験、研修員との懇親会、国際理解をテーマとしたゲーム、ケーススタディ、研修コースの見学など行っています。

実施時期・期間:毎年夏休みに2泊3日

実施場所:当センター

参加校:東海北陸地域の7県から募集。(1県1校が原則)

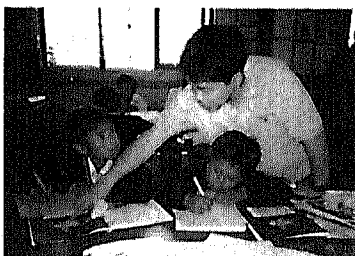
1校につき生徒男女2名ずつ、引率教師1名の計5名 7校35名を募集

参加費用:無料(JICA 中部への往復費用も当センターが負担します)



初めての手づかみ食事体験!

♪パネル・ビデオの貸し出し



このようなパネルがあります

JICA 中部では国際理解教育・開発教育の授業での使用や、一般の人々にも利用していただけるよう、広報用のビデオ・パネルの貸し出しサービスを行っています。

パネル:東海4県出身の青年海外協力隊、シニア海外ボランティアなど各種ボランティアの方々の活動の様子を写した写真パネル、開発途上国の情景を伝える写真パネル等

ビデオ:各種ボランティアやJICA事業の活動紹介

↓最新のリストはこちらのホームページをご覧ください。

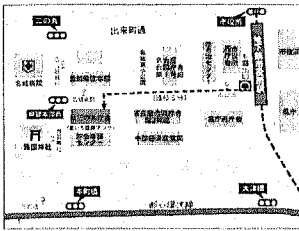
http://www.jica.go.jp/branch/cbic/jigyo/kaihatsu/rental_list.html

■ ■ ■お問合せ先 ■ ■ ■

♪ 東海 4 県の JICA の窓口

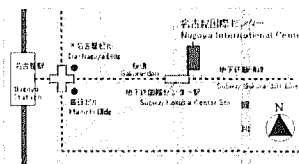
東海地方の各県に、より身近な JICA の窓口“国際協力推進員”が配置されています。お気軽にお問合せください。

愛知県の方は・・・



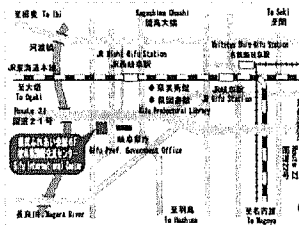
(財)愛知県国際交流協会内 JICA 国際協力推進員 秋田のぶ子(あきた のぶこ)
 〒460-0001 名古屋中区三の丸 2-6-1
 愛知県三の丸庁舎内(地下鉄名城線市役所駅より徒歩 5 分)
 TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045
 メール:jicadpd-desk-aichiken@jica.go.jp

または



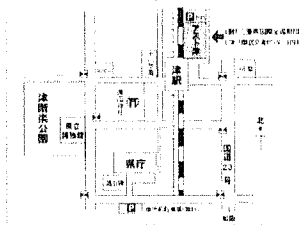
(財)名古屋国際センター内 JICA 国際協力推進員 藤原久道(ふじわら ひさみち)
 〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1
 (名古屋駅から東へ徒歩 7 分、または地下鉄桜通線国際センター駅で下車)
 TEL:052-581-5691 FAX:052-581-5629
 メール:jicadpd-desk-nagoyashi@jica.go.jp

岐阜県の方は・・・



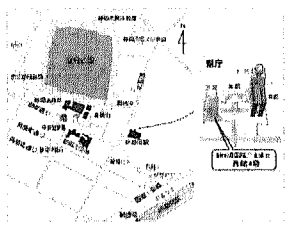
(財)岐阜県国際交流センター内 JICA 国際協力推進員 古田敦子(ふるた あつこ)
 〒500-8384 岐阜市荻田南 5-14-5 岐阜県県民ふれあい会館 6 階
 (西岐阜駅から無料バス)
 TEL:058-276-4459 FAX:058-272-8839
 メール:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

三重県の方は・・・



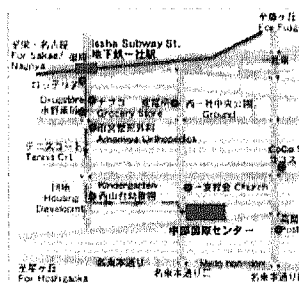
(財)三重県国際交流財団内 JICA 国際協力推進員 池田幸代(いけだ さちよ)
 〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 3 階(津駅東口すぐ)
 TEL:059-223-5006 FAX:059-223-5007
 メール:jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

静岡県の方は・・・



(財)静岡県国際交流協会内 JICA 国際協力推進員 甲斐尚子(かい ひさこ)
 〒420-8601 追手町 9-6 静岡県庁西館 4 階(静岡駅より徒歩 10 分)
 TEL:054-221-3355 FAX:054-251-8148
 メール:jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp

♪ 東海 4 県の総合窓口 —JICA 中部—



〒465-0095 愛知県名古屋市名東区亀の井 2-73 (地下鉄東山線 一社駅より徒歩 10 分)
 独立行政法人国際協力機構 中部国際センター(JICA 中部) 業務課 国民・市民参加推進班
 TEL:052-702-1391 FAX:052-702-1390
 メール:jicacbica@jica.go.jp
 ホームページアドレス:http://www.jica.go.jp/worldmap/toukai.html#chubu

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

● 活動内容

平和で人権が守られる社会づくりのために、地域のNGO活動を支援しています。
現在、43のNGOが加盟しています。

● 連絡先

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや 3F 北室

t e l & f a x 052-588-3680

Eメール ngoinfo@sf21npo.gr.jp

ホームページ <http://www.sf21npo.gr.jp/~ngo>

※日・月・祝日休み

※開所時間：13:00～17:00

● 講師謝礼

1時間 7,000円+交通費実費がめやす

● 実施例

加盟NGOの活動する現場の写真を集めた教材「世界への扉」を使った授業を展開します。

● メッセージ

NGOって何？NGOが支援しているところにはどんな問題があるの？など、NGOの入門でしたらおまかせ下さい。いっしょに授業を創り上げていきましょう。

以上

ICAN の国際理解教育を学校で！

2003年、国際理解教育のプログラムとして、小学校から短大まで6校の学校での計12回の訪問授業、イベントでの国際理解ワークショップ、事務所での訪問者受入、カード&文具キャンペーン、児童労働や国際理解教育に関する学習会などを行いました。これらを通じて、さまざまな形で国際理解のための教育・啓発活動に取り組みました。発展途上国の現場で、直接経済的貧困層の支援活動を行う ICAN にとって、日本での国際理解教育は、現地の問題を日本の子ども達や一般の方に、自分自身の問題として考えてもらう上で、たいへん重要です。ICAN では、国際理解教育として、以下のようなプログラムを行っています。

ICAN が提供する国際理解教育

- ◇ 学校での授業、国際理解講座
(シミュレーションゲーム、ロールプレイなどのオリジナル教材を使った参加型ワークショップなど)
 - ◇ 事務局への訪問者受け入れ
 - ◇ 教師を対象にした海外現場研修
 - ◇ フィリピンの子供達と日本の子供達の交流促進 (文房具寄付、カードキャンペーン)
 - ◇ 教材貸出 (児童労働ビデオ、写真展用写真、オリジナル教材等)
-

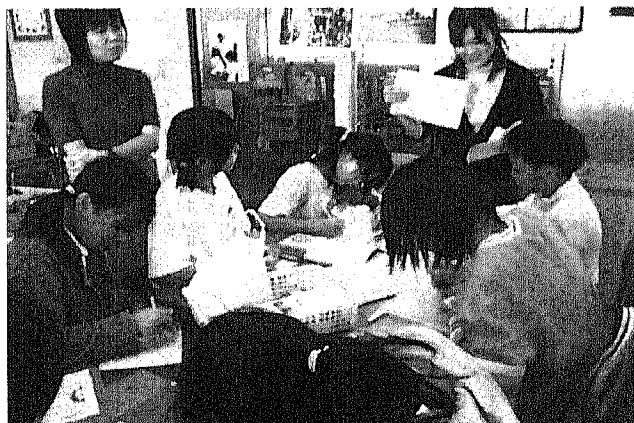
昨年度行われた国際理解教育のうち、学校の総合学習での取り組みをご紹介します。

事例紹介：神戸小学校「学校に行きたい!プロジェクト」

11月7日、三重県鈴鹿市神戸小学校の5年生、3クラスで「学校に行きたい！」というタイトルで国際理解の授業を行いました。

神戸小学校では、総合的な学習(国際理解)として、「学校に行きたい！」という45分×8回のカリキュラムを組んでいました。ICAN は、その中の5・6回目の授業(90分)を担当、「学校に行きたくても行けないパヤタスの子ども達のことを知る」ことを通じて、「学校とは何か、学ぶとは何か」を考えてもらいました。内容は、「子どもが学校に行くということが、家族の暮らしや仕事と関係している」ことを体験するシミュレーションゲームとふり返りです。

ゲームでは、子ども達にそれぞれ5人ずつのグループに分かれてもらい、農村・都市の貧困層の家族、富裕な工場長の家族の役を演じてもらいます。ICAN スタッフが鐘を鳴らすと、ゲーム内での一日の始まりで、お父さん、お母さん役の人は働きに行き、子どもは学校に行くか働くかを選びます。「学校へ行く」ことを意識しながら



ら、フィリピンの生活を疑似体験してもらいました。一日が終わると労賃を受取り、市場で食べ物を買うことが原則です。実際には、その日働いたお金で「食べる」ことを選択する家族、「子どもを学校に行かせる」ために働く家族、そもそもお金は「貯金」をするのが一番良い(食べない)という決断をする家族もありました。子ども達の個性や発想、グループの特徴がよく表れていたと思います。(もっとも、工場長の家族だけは、家計の心配はありませんでした)

ゲームの中では、子ども達の目はどうしても「貯金」に向きがちです。ゲームの後のふり返りでは、自分たちの家族が選択したことを改めて思い出しました。「何日働いていくら稼いだか(父・母役)」「何日働いて、何日学校へ行ったか(子ども役)」「何日、食事抜きだったか」などの確認をしたのです。子ども達は、ゲームの中で自分の家族が選んだ生活を思い出し、他の家族の選択した生活について聞くことで、「いろいろな家族の暮らし(価値観や優先順位)がある」ことに気づきました。

更に、子ども達は、実際にフィリピンの現状を聞き、「働くこと」と「学校に行くこと」のどちらかを選択をしなければならない子どもたちの状況を聞きました。自分たちが毎日学校に来ることの意味や、学校に行くことが当たり前でない生活・その日満足に食べるのが当たり前でない生活があるという事実、改めて向かい合うことになりました。

小学生ということで、「フィリピン」についての突っ込んだ話を授業で初めて聞く子も多かったことと思います。先生の協力、JICAの教材、NGOのワークショップと、盛りだくさんの内容の中で、子ども達は授業に参加しながら気づき、考え、学ぶことはたくさんあったと思います。とはいえ、毎回、ICANが授業にお邪魔することはできませんから、子ども達がどんな事を感じ、心に残してもらえたかの確認やフォローは、現実には困難です。シミュレーションゲームやふり返りを通して、「家族が暮らしていくために、学校に行くか、働きに行くか、選ぶゲームをした」こと、その中で感じたことを、出来る限り覚えていてほしいと思いました。(ICAN会報 第33号より)

ICANでは、国際協力活動を通して、日本とフィリピンの問題、社会の構造についてなどを様々な側面から考えます。テーマも「NGOについて」、「アジアの暮らしについて」、「ボランティア活動について」など様々です。

授業の実施に関しては事前に打ち合わせが必要となります。

ICANの国際理解教育プログラムについてのご質問・お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター(ICAN)

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや 2F

TEL&FAX : 052-582-2244 E-mail : info@ican.or.jp URL : <http://www.ican.or.jp>

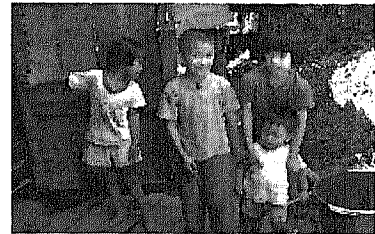
国際理解教育プログラム

Education for International Understanding Program



国際理解教育プログラム

Education for International Understanding Program



国際理解教育プログラム（E I U P / イー・アイ・ユー・ピーと呼びます）は、名古屋大学大学院国際開発研究科（GSID）の院生を主体とした非営利団体です。国際開発研究科は、多くの留学生や国際経験豊富な日本人院生が共に、国際的視野から開発・協力・交流について学んでいる研究科です。このような研究科の特性を生かし、地域の国際化に貢献することは、私たち院生にとって身近な国際協力活動の一つではないかと考えます。昨年度より、E I U P は、国際開発研究科設立10周年記念プロジェクトの一つとして、「国際理解教育デリバリー（出前）」という活動を開始しました。

国際理解教育デリバリーとは？

文部科学省の学習指導要領にも、国際理解教育の必要性が掲げられています。この活動は、生徒があまり接することのない、留学生や海外で活躍する日本人と実際に交流することにより、身近な視点からの国際理解教育を行うことを目的としています。私たち院生は、この活動を通して、私たちが出来る国際協力活動の可能性を皆さんと一緒に探求していきたいと思えます。

デリバリーのメニューが豊富になりました。

国際開発研究科（GSID）の学生が、愛知県内の学校を訪れ、国際理解に関するさまざまな授業を行います。以下のような講座を予定していますが、ご要望に応じてそれ以外の講座もご用意いたします。過去に行われた講座についてはホームページでご覧いただけます。（<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/eiup/index.html>）

【授業の種類】 以下の3つのタイプの授業を予定しています。

<p>国際講座…留学生の出前紹介</p> <p>様々な国の紹介や、クイズ、民族衣装の試着、民族音楽の視聴、料理作りなどを通して実際に留学生と交流する機会を持つことで、異文化に触れ、相手を理解しようとする姿勢を育てていく講座です。</p>
<p>例) タイ講座—タイの踊り紹介・グリーンカレー作り</p> <p>中国講座—中国語の挨拶ゲーム・餃子作り・民族衣装紹介</p> <p>複数国講座—不特定多数の国々の紹介</p>

<p>テーマ別講座・・・留学生と共に時事問題を考える講座</p> <p>現在の世界が抱える様々な問題について、留学生の出身国の取り組み・状況を知り、自分たちは何ができ、何をすべきなのかを考える講座です。</p> <p>例) 環境講座－リサイクル・森林伐採などについての話し合い</p> <p>国際ボランティア講座－国際的に行われているボランティアとその国の紹介</p> <p>宗教講座－様々な宗教とその文化の紹介</p>
<p>その他の講座・・・上記以外の講座も行います。</p> <p>例) バファバファ－全員が架空の国の住民となって他国を訪ね一種のカルチャーショックを体験するゲーム</p>

2004 年度前期デリバリーに関する情報

【講座デリバリー申込み資格】

愛知県内の小学校（3 年生以上）・中学校・高等学校（可能であれば他県の応募も受け付けます。）

【申込み期間】 2004 年 4 月 5 日（月）～2004 年 4 月 30 日（金）

2004 年 4 月 30 日（金）までに「講座申込書」が EIUP 事務局に到着するように郵送もしくは FAX で送信して下さい。郵送の場合は、当日消印有効です。

【その他】

※担当スタッフが事前の打ち合わせやデリバリーの実施等で、貴校へお伺いする際の交通費の負担、もしくは送迎など、交通手段の確保をお願いします。

※EIUP の活動は非営利であるため、学生の数・時間に制約があります。

※その日限りの国際交流にならないように事前・事後の指導をよろしくおねがいします。
申込み多数の場合や、ご希望に添えない場合は、お断りすることもあります。

所在地・お問い合わせ先

EIUP 事務局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院国際開発研究科(GSID) 内 2階 205

TEL/FAX : (052) 789-5082 受付時間 : 月・水・金 午後1時～午後5時

E-mail : eiup@m.gsid.nagoya-u.ac.jp

HP : <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/eiup/index.html>

(財) 愛知県国際交流協会 (A I A)

(財) 愛知県国際交流協会					
活動内容	「外国人と交流する」などの初歩的な国際交流から一歩進んで、「地球規模の課題を自ら考え、学び、行動する」ための国際理解ワークショップのファシリテーター（進行役）を学校等に派遣する。また、愛知万博を契機とした国際交流・国際理解の取組みにも協力する。				
所在地	名古屋市中区三の丸二丁目6番1号 愛知県三の丸庁舎内				
TEL	052-961-7904	FAX	052-961-8045	E-mail	ikusei@aia.pref.aichi.jp
URL	http://www2.aia.pref.aichi.jp		謝礼・ 交通費等	ファシリテーター1人あたり 3,000円程度+交通費（予定）	
実施例	「豊かさって何?」: 豊かさランキング、私を豊かにしてくれるもの 「地球と地域のつながり」: 鎖国ゲーム、なりきり自己紹介 「思い込み・偏見」: 地球の数字クイズ、あなたも小説家!				
メッセージ	未来を担う子どもたちには大きな視野を持った「国際人」になってもらいたい。 そのために、異文化紹介・交流などだけではなく、人権、環境、平和、未来に関連した問題解決のための力を養っていきます。一緒に地球のことや地域のことを考えましょう。				

(財) 名古屋国際センター (NIC)

活動内容	地域の国際理解を深めるため、外国人スタッフ「なごや民間大使」や留学生はじめ在住外国人を「NIC地球市民教室」として学校や地域の団体などに講師として派遣し、講演や交流活動を行っています。また、世界の読み書きできない人々の「学ぶための環境（寺子屋）作り」に協力する”世界寺子屋運動”を推進するため、パネル等の貸し出しを行い、書き損じはがきを回収しています。			
所在地	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル内			
TEL	052-581-5691	FAX	052-581-5629	E-mail koryu@nic-nagoya.or.jp
URL	http://www.nic-nagoya.or.jp		連絡先担当者	交流協力課 林（地球市民教室） 角（世界寺子屋運動）
講師派遣	<input checked="" type="checkbox"/> あり（地球市民教室） <input type="checkbox"/> なし	講師派遣内容	母国の文化や国際理解に関する講座や、歌、踊り、料理、ゲームを通じた交流	
派遣人材	名古屋国際センターの外国人スタッフ、ボランティア、国際留学生会館の留学生	学校側の準備物	講師との打合せで決定。事前学習が望ましい。	
謝礼や交通費等の条件	原則として1名につき名古屋市内6,000円、市外8,000円			
講師派遣可能地域	<input type="checkbox"/> 県内全域 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 要相談			
依頼方法	<input type="checkbox"/> TEL <input checked="" type="checkbox"/> FAX <input checked="" type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> その他	依頼期限	1ヶ月前	
実践例	・ 小中学校で各国の文化、生活習慣、子どもの遊びや勉強についての講演、交流・ 生涯学習センターや国際交流協会などでの連続講座で歴史、文化を紹介・ 学校や国際交流団体の講座で料理を一緒に作ったり、ゲームをして交流			
その他の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 貸出物（寺子屋運動） <input checked="" type="checkbox"/> 施設見学 <input checked="" type="checkbox"/> 活動見学（寺子屋運動） <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア受入（寺子屋運動） <input type="checkbox"/> なし			
貸出物内容	当センターが実施する「世界寺子屋運動」の展示パネル・広報ビデオ			
メッセージ	学校の「総合学習の時間」や地域での様々な国際理解活動に、ぜひ当センターの「NIC地球市民教室」「世界寺子屋運動」をご採用ください。なお、施設見学はNICの活動紹介を目的としており、おもにライブラリーや情報カウンターをご覧いただいています。連絡は広報情報課（052）581-0100にお願いします。			

特定非営利活動法人 NIED 国際理解教育センター

★連絡先

〒464-0032 愛知県名古屋市千種区猫洞通 5-21-2 ライフピア本山 3 F

TEL:052-789-1151 FAX:052-781-5779 E-mail: nied@love-hug.net

ホームページ <http://nied.love-hug.net>

★活動理念

お互いから学びあう力、参加する力、共働して創り出す力を育むための場と方法を提供し続けることにより、市民一人ひとりが個別に持つ能力と持ち味を、最大限に活かし、自分自身と自分たちの暮らす地域や地球に心を配り、参加と対話を通して環境・人権など様々な課題を解決し、持続可能な未来を築くことをめざします。

★活動内容

1. 参加・対話・体験型の講座・研修のプログラムデザイン及びプログラム相談

テーマ 人権、環境、共生、まちづくり、市民参画、自己理解、コミュニケーション、こどもの権利、男女共同参画、総合学習、ファシリテーター、NPO運営など

対象 一般、教員、行政職員、NPOスタッフ、学生、児童、ボランティアなど

2. ファシリテーター派遣

上記のような参加型の講座・研修にファシリテーターを派遣します。

3. 人権・環境のまちづくりのプロセスデザインとファシリテート・コンサルティング

人権、環境に関わる市民と行政共働のまちづくりのプロセスをデザインし、場のファシリテート、並びに必要な調査検討、資料提供、記録作成、報告書作成などのコンサルティングを行います。

4. 調査・研究

以上のねらいの達成に必要な調査、研究を共同で行います。

5. 記録・報告書作成

提供したワークショップ、共働のプロセス等を記録に残し、編集、報告書として後生に残すお手伝いをします。

★2002年度の実績

◆一般対象

- ・ 桑名市員弁 コミュニケーションワークショップ (全2回)
- ・ 鈴鹿市国際理解のつどい (継続3年)
- ・ 名古屋市東山小学校PTA研修会「自尊とコミュニケーション」
- ・ 浜松国際カレッジ
- ・ スタディーツアー事前研修
- ・ 女性セミナー「グローバルな視点を持って生きる」
- ・ 就職支援ワークショップ「セルフエスティーム」

員弁町
鈴鹿市国際交流協会
東山小学校PTA
浜松市国際交流協会
静岡市国際交流協会
名古屋市緑生涯学習センター
みずほ大学

◆ボランティア対象

- ・ 愛知県国際交流協会ボランティア研修 (継続5年)
- ・ 総合学習派遣ボランティアファシリテーター研修 (全15回)
- ・ 一宮市国際交流協会ボランティア総会国際理解WS (継続3年)
- ・ 金沢国際交流ボランティア研修
- ・ ボランティア研修 コミュニケーション
- ・ 豊明市ボランティア研修 (継続2年)
- ・ 「国際理解教室」派遣ボランティア研修
- ・ 日進市ボランティア活動推進研修

愛知県国際交流協会
愛知県国際交流協会
一宮市国際交流協会
金沢市国際交流協会
NPO法人まめっこ
豊明市国際交流協会
静岡市国際交流協会 EGG
日進ボランティア連絡協議会

◆小学生～高校生対象

- ・ JICA 高校生国際協力実体験プログラム (継続3年)
- ・ 国際理解親子講座「地球の味方」 (継続6年)
- ・ NIC 国際ジュニアカレッジ (継続6年)
- ・ 静岡市「国際理解教室」ボランティア研修 (継続2年)
- ・ 浜松国際理解親子ワークショップ (継続2年)
- ・ 尾西市国際理解親子WS (継続2年)
- ・ 中央高校トライ「コミュニケーション再発見」
- ・ 岐阜県糸貫中学校3年生「人権」ワークショップ

JICA 中部国際センター
愛知県国際交流協会主催
名古屋国際センター
静岡市国際交流協会
浜松市国際交流協会
尾西市国際交流協会
中央高校
糸貫中学校

◆NPO・ボランティア活動支援

- ・ 地域のNPO活動推進研修 (全3回)
- ・ NPO人材育成
- ・ NPO活動支援アドバイザーファシリテーター研修
- ・ 高山市まちづくり交流フォーラム NPO活動支援

NPO法人サポートちた
市民フォーラム21・NPOセンター
同上
高山市女性ネットワーク

◆行政職員研修

- ・ 愛知県市町村国際交流担当職員研修「テーマ：評価Part2」(継続5年)
- ・ 男女共同参画推進 行政職員研修 (継続2年)
- ・ 男女共同参画推進 行政職員研修

愛知県国際交流協会
日進市役所
高山労組女性部会

◆指導者研修

- ・ 開発教育・国際理解教育指導者研修 (継続2年)
- ・ 香川県学校同和教育夏期研修講座 (継続5年)
- ・ 香川県社会同和教育指導者実践講座「参加型で学ぶ人権」(継続3年)
- ・ 男女共同参画学習アドバイザー養成講座 (継続3年)
- ・ 国際理解教育教員研修
- ・ 群馬県人権教育教員研修 (全2回)
- ・ 岐阜県人権教育教員研修
- ・ 金城学院大学助手研修「コミュニケーション」
- ・ その他個別の学校教員研修：当知中(名古屋)／岩倉小(愛知県)／太子小(名古屋)／庄内小(名古屋)

JICA 中部国際センター
香川県教育委員会
同上
同上
NPO法人 ソムニード
群馬県
岐阜県
金城学院大学

◆市民・職員共働「日進市環境基本計画」策定プロセスデザイン及びファシリテート (01～03年)

愛知県における国際理解教育・開発教育ニーズ調査報告書

発行 平成16(2004)年3月
発行者 独立行政法人国際協力機構 中部国際センター (JICA中部)
〒465-0094 名古屋市名東区亀の井2丁目7番地
Tel : 052-702-1391 Fax : 052-702-1390
<http://www.jica.go.jp/worldmap/toukai.html>
E-mail: jicacbica@jica.go.jp

調査・編集

愛知県における国際理解教育・開発教育ニーズ調査研究会

委員	今津 孝次郎	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科
	荻原 久義	JICA中部
	久世 治靖	名古屋市立宮根小学校教諭
	栗木 梨衣	愛・地球博ボランティアセンター
	里村 京子	愛知県立港養護学校教諭、ICAN、 EIUP、青年海外協力隊OG
	瀬尾 さとみ[前半]	(特活)名古屋NGOセンター、 (財)名古屋YWCA
	田中 千賀子	光ヶ丘女子高等学校教諭
	野田 真里	中部大学 国際関係学部国際関係学科 (特活)名古屋NGOセンター
	濱田 泰輔	名古屋市立若葉中学校教諭
	村山 佳江[後半]	(特活)名古屋NGOセンター
[座長]	山中 令子	(特活)NIED・国際理解教育センター
オブザーバー	加藤 哲士	(財)愛知県交際交流協会
	林 恵理子	(財)名古屋国際センター
事務局	磯貝 白日	JICA中部
	藤原 久道	JICA名古屋市国際協力推進員
	川合 眞二	(特活)NIED・国際理解教育センター

13305

